

頑張る学校・地域！応援プロジェクト 通信

No.5 2021年1月22日(金)

発行責任者 下野市立国分寺中学校 教頭 生井厚志・地域連携教員 石崎真清

TEL0285-44-0050

国分寺小で読み聞かせを実施しました

先月の東小での読み聞かせに引き続き、1月14日(木)読み語りサークル「むくの木」の方々と一緒に、中学生が、国分寺小学校1～5年生全クラスで、小学生への読み聞かせを行いました。

また、今回の読み聞かせの様子が1月17日(日)付下野新聞でも紹介されました。

<国分寺小児童の感想>

・みんなに聞こえる声の大きさと、ていねいに読んでくれて嬉しかったです。中学生であんなに上手に読めるなんてすごいなと思いました。(1年児童)

・中学生はとても音読が上手で、すごいなあとと思いました。知っている昔話を読んでくれたけど、とても楽しかったです。私も、中学生みたいに上手に読めるようになりたいです。(2年児童)

・声が大きくて聞きやすかったので、上手だと思いました。本もおもしろかったので、また読んでくれるとうれしいなと思いました。(3年児童)

・中学生がじっくり本を選んでくれて、練習してきてくれたことが伝わるような読み聞かせでした。私はあんな風にはできないので、あこがれます。

(4年児童)

・小学生に聞かせるために練習してくれたと聞きました。とても上手でした。お話しも面白かったです。ぼくも、あんな中学生になりたいと思いました。」(5年児童)



<国分寺小教職員の感想>

・低学年にも分かりやすいように、工夫して読み聞かせをしている姿が素晴らしいかったです。読書の楽しさや、中学生のかっこよさを実感することができました。(低学年担任)

・中国の昔話を読んでくれました。少し長いかなと思いましたが、とても上手に、そして一生懸命に読んでくれたので、子ども達は最後まで熱心に聞き入っていました。中学生が来てくれたことが何よりうれしかったみたいです。(中学年担任)

・今回は、中学生の読み聞かせということで、子どもたちは楽しみにしていました。堂々と落ち着いて読んでいた中学生に、すごいなという尊敬の気持ちが生まれたようです。小中一貫教育の一つとして、とても意味のある活動だったと思います。(高学年担任)



<中学生の感想>

- ・人との交流が難しい中、改めて、友達がどれだけ大切なものかを本を通して伝えることができた。ボランティアの方々に、コツをたくさん教えてもらったおかげで、満足のいくような読み聞かせができた。
- ・誰かに読み聞かせをするのは初めてで少し緊張したが、1年生が楽しそうに聞いてくれて、本当に嬉しかった。また、機会があれば読み聞かせをやりたい。
- ・小学生は最後まで静かに聞いてくれたので、練習できて良かった。母校への恩返しができるのではないかと思う。

<ボランティアの方の感想>

- ・中学生の一生懸命な姿に感動しました。
- ・中学生の姿を小学生に見せることが刺激になると思う。これからも中学生に来てもらえると嬉しい。
- ・回数を重ねると、本の選び方も分かってくると思う。ぜひ回数を重ねてほしい。

国分寺小では、以下の2つのボランティア・サークルが読み聞かせを行っています。興味のある方は下記へご連絡ください。

<民話語り部の会 ゆうがお> 代表 黒須智子様 ☎0285-53-7586

2005年(平成18年)より活動。会員17名で月1回の国小の朝語りや石小の昼語りを実施。また緑小と細谷小は授業で民話を語っている。夏休みの学童保育でも民話語りを実施。子供たちには地元で伝わる話を、大人の方には地域のサロンや老人施設のデイサービスなどで民話語りをしている。

<むくの木> 代表、連絡先については本通信第3号をご覧ください。

平成15年発足。現在14名で活動。毎月1回、国分寺小学校の各クラスで朝の読み聞かせを実施。

小中作品交流及び公民館での作品の展示会を実施しますので楽しみに！

国分寺中学校、国分寺小学校、国分寺東小学校の3校で「小中作品交流活動」を以下の期間実施します。後半は公民館に展示する予定ですので、ぜひご覧ください。

- ・1月26日(火)～2月12日(金)…各校で、他の2校の代表作品を展示
- ・2月13日(土)～2月26日(金)…国分寺公民館にて3校の代表作品を展示

※公民館の展示時間 9:00～17:00 (月曜休館)